

上田市教育委員会 12月定例会会議録

1 日 時

令和4年12月16日（金） 午後2時33分から午後2時58分まで

2 場 所

上田市役所202・203会議室

3 出席者

○ 委 員

教 育 長	峯 村 秀 則
教育長職務代理者	北 沢 秀 雄
委 員	森 田 小 百 合
委 員	大 久 保 恵 子
委 員	木 口 博 文

○ 説 明 員

小野沢教育次長、児玉教育参事、山賀教育総務課長、宮原教育施設整備室長、長田学校教育課長、上原生涯学習・文化財課長、和根崎上田城跡整備担当政策幹、久保田人権同和教育政策幹、櫻井スポーツ推進課長、清水第一学校給食センター所長、星野中央公民館長、滝沢城南公民館長、浅野上田図書館長、小林丸子地域教育事務所長、松木真田地域教育事務所長、

1 あいさつ

皆さんにご心配をいただいている部活動の地域移行の件であるが、これまで方針についてスポーツ庁と文科省の有識者が話し合い、令和7年までに取組むようにという要請があった。これについて本日のニュースで、全国の各市町村が非常に頭を抱えており、またその対応を見直そうという動きが出てきたとの報道があった。その理由として、全国の市町村において指導者が不足しているということと、教員の働き方改革のために、保護者に経済的な負担を増やすということはいかなるものかということである。例えば「指導者に対して、謝金を払ったりすることはおかしいのではないか」というような意見があり、文科省が今回調査をやり直すそうではないかという動きになっている。今後の国の動きを注視してまいりたいと思う。またいずれ部活動の地域移行については、協議会等でも協議していく内容となるのでお願いしたい。

2 協議事項

(1)「学区外就学」について（学校教育課）

○峯村教育長説明

先ほどの協議会で皆さんと話し合いをさせていただき、令和5年度に西内小学校に入学する新生児保護者から学区外就学について要望があった場合、「統合」という特別な事情があるので、今回に限り教育長判断として承認していきたいということでご了解をいただいた。定例会という公開の会議の場でもう一度お諮りして、教育委員会の総意としての決定をしたいと思う。よろしいか。

○全員了承

(2) 上田市社会教育委員の委嘱について（生涯学習・文化財課長）

○資料2により上原生涯学習・文化財課長説明

上田市社会教育委員については、社会教育法及び上田市社会教育委員条例に基づき、社会教育事業の立案、事業内容の評価、そして教育委員会からの諮問に応じ、調査審議することを職務として設置している。現在の委員の任期は令和4年12月31日で満了となることから、新たな委員を委嘱したいというものである。任期については、令和5年1月1日から令和6年12月31日までの2年間とし、委員の定員数については、社会教育委員条例で10名以内とするとされていることから、9名の委員を選考している。また、委員選考の考えかたについては、条例で学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行うもの、ならびに学識経験者のうちから、教育委員会が委嘱するとされていることから、こうした観点を踏まえて、社会教育の分野で主体的に取り組まれている方、また、小学校や大学、福祉など、各方面に精通されている方から多様なご意見をいただきたいとして各委員を選考しており、地域のバランスにも配慮しているところである。また、今回の委員選考に当たっては公募を行い、応募者の面接審査の結果1名の公募委員を選考している。選考した社会教育委員の氏名等については、記載のとおりである。

峯村教育長

今、社会教育委員に任命されている方は、第8期の方々である。今、説明があった委員の皆さんは第9期の委員の委嘱ということになる。この皆さんに社会教育委員の委嘱をしてよろしいか。

木口委員

選任の基準に、「社会教育の関係者」という基準があるが、これは大まかにどのような内容であるか。

上原生涯学習・文化財課長

社会教育という捉えになるが、地域づくり・まちづくりに関わっている方、また文化財やそれらの保護に関わっている方、その他諸々、生涯学習・文化財課に所管しているような事務に関わるような皆さんということで、公民館の関係者や分館の関係者も含まれている。社会教育の幅が広い範囲となるが、私どもの業務に携わっているということで捉えている。

峯村教育長

他にはよろしいか。

○全員了承

3 報告事項

(1)「史跡上田城跡保存活用計画」策定について（生涯学習・文化財課）

○資料3により和根崎上田城跡整備担当政策幹説明

本企画については、令和2年度から策定についてこれまで取り組んで参ったが、概ね計画の体裁が整い、1月にパブリックコメントを実施したいことから、現在の進捗状況、それから今後のスケジュールについて説明を申し上げる。まず保存活用計画であるが、この資料に書いてあるとおりである。詳細については、計画表のとおりであるので省略させていただくが、上田城跡の整備、それから保存、活用、こういったことの指針として、今後の武者溜りの整備、それらか櫓の復元的整備に向けた基本的な方向性を示す計画として、現在計画を進めているところである。計画の概要については、(1)策定の経過をご覧いただきたい。先ほど申しあげたとおり、令和2年度から3年間をかけて、今年度末の策定を目指し、現在進めているところである。経過の詳細については、説明は省かせていただくが、後ほど、今後のスケジュールについて申し上げる。計画期間は、概ね10年間であるということである。構成等については、資料の「別紙」をご覧いただきたい。今回、平成23年度に策定をした史跡上田城跡保存活用計画、これを発展的にもう一回再編をし、保存活用計画とさせていいただいているところである。内容については、文化財保護の方向性というものが、管理から活用という方向へ大きく転換されたことに伴い、23年度の管理計画の中に含まれていなかった内容について追加、それからより詳細に求められているという内容になっている。個々の項目についての説明は省略させていただくが、一番は、上田城跡の整備・保存活用について具体的に計画を立て、内容について検討を進めているところである。それでは裏のページを。「計画策定(認定)の目的・効果」ということで上げさせていただいた。今後計画を策定することに、より効果としてあげられる部分については(1)

～(5)までの部分になる。それからこの策定が済んだ後、文化庁に認定という手続きを取りたいと考えている。この認定というところの効果として、(6)に掲げた国庫補助事業の採択にあたり優位性が向上するというようなメリットがある。策定が済んだ後そのような取り組みを続け、来年度の認定に向けて努力していきたいと考えている。今後のスケジュールについては、この表に書いてある通りである。先ほど申しあげたとおり、来月パブリックコメントを行いたいと考えている。そこでいただいたご意見等をもとに、文化庁、それから史跡上田城跡専門家会議等の意見を聴取しながら、3月には策定した計画・案ということで文化庁へ提出をし、4月以降認定申請となる。認定申請前にはもう一度教育委員会へお諮りしたいと考えている。

なお、来年度文化庁の文化財部門が京都府に事務所を移転することに伴い、認定の事務が少し滞るのではないかと文化庁からは言われているので、恐らく認定については1月以降のタイミングになるのではないかと考えている。それから追加であるが、現在発掘調査をしている旧市民会館の駐車場であるが、今日も発掘調査をしてきたが、中々その成果というものが一般の方に分かりにくい状況である。そこで今月の18日の日曜日、明後日であるが午後1時、2時、3時からの3回にわたり、現場において現地説明会というものを開催したいと考えている。もしお時間が許せば上田城の方にお越しいただければと考えている。

峯村教育長

ただ今の計画の策定についてご意見ご質問あれば。よろしいか。

○全員了承

(2)「令和4年度生涯学習・シンポジウム」実施報告について(生涯学習・文化財課)

○資料4により上原生涯学習・文化財課長説明

このシンポジウムについて、昨年、令和3年に上田自由大学創設100周年を迎えることを契機に、社会教育運動の意義を顕彰し、市民の自発的な学習活動を現在そして未来につなげていくことをシンポジウムのテーマとし、プレ大会、昨年度の本大会に続き、今年度はアフター大会に位置付け、市民の皆さまが主体的に開催するフォーラムを教育委員会が共催する「共催事業」として開催したものである。実施した自由大学運動100年記念フォーラムの開催についてご説明する。まず、本番のフォーラムを有意義なものとして、上田自由大学運動の意義を顕彰することの実効性を高めるため、8月から10月にかけて、事前学習会を開催し、自由大学について理解を深めた。そして、本番となるフォーラムを11月13日(日)に上田商工会議所を会場に、市内外、94名のご参加をいただき開催することが出来た。内容として、ご覧のとおり午前中に基調報告、午後はシンポジウムを開催し会場参加者を交えた自由大学ならではの活発な意見が交わされ、充実したフォーラムとなった。

裏面をご覧いただきたい。参加者の感想、意見をアンケートから一部抜粋して掲載している。「上田自由大学の歴史的な意義と自由大学の精神を再確認することが出来た。」また、「多様な学びの場や、活動が自由大学の精神とどのような関わりを持つのか、考える良い機会となった。」そして「この精神を継承し、次の時代に繋げていかなければならない。」このようなことをこのフォーラムを通じて参加者から多くの感想意見をお聞きすることができ、生涯学習シンポジウムを開催した意義が一定程度評価あったものと評価しているところである。しかしながら、以前の教育委員会で教育委員の皆さんからご意見いただいた若者の参加という観点においては、感想にもあるとおり、若干の参加者はあったものの、なかなか若い方の参加者は少なく、未来

に繋げていくためにどのように取り組んでいくのか、特に自由大学の発祥の地であるこの上田においてのあり方について、実行委員会として、また、私ども教育委員会としても、大きな課題として捉えているところである。最後になるが、このフォーラムに合わせ、「出張どこでも先人館」を開催した。上田自由大学に関わった先人が何人かおられる。実行委員会において先人の関わりを学習する中から人選をしていただき、先人9点のパネルを展示し、多くの方にご来場いただいたところである。

峯村教育長

ただ今の報告について、ご意見ご質問があればお願いします。

北沢委員

自由大学の100年記念フォーラムの実施報告は、記録がどのようになっているのか質問をしたい。

ケーブルビジョンが入っているのですが、記録は映像等では残っていると思うが、「基調講演の内容を文字に起こす」、また「シンポジウム全体の内容を冊子にする」など、100年の記念であるので記録としてまとめるなどの計画はあるのか。

上原生涯学習・文化財課長

今回共同開催ということでやってきているが、実行委員会では長野県の地域発元気づくり支援金の支援をいただきながら開催している。来年度事業として、報告書の取りまとめについて取り組むとしているので、報告書を作成していくところと併せ、映像についてもUCVさんの協力を得ながら、どのような形で残していけるか検討して参りたい。

北沢委員

コロナ禍であるため、いろいろな事業が縮小や中止になっているので、記録をきちんと残し次に繋げていってもらいたい。

峯村教育長

他にはいかがが。

森田委員

参加者の感想のところで「若者の姿が見られず」というところであるが、やはり今後の大きな課題になると思う。今後の活動の中で、この地域にこのような素晴らしい歴史があることを踏まえ、小中学校の授業の地域学習というようなところに一緒に組み込んでもらい、例えば会場に行けなくてもインターネットで繋げ参加をするだとか、長野大学や信州大学などの大学も巻き込むとか、今後は意図的に若者の参加を進めていってほしいと思う。

上原生涯学習・文化財課長説明

私、東京集会にも参加させていただいた。そこは研究されている大学の先生方の集まりではあったのだが、学生たちに対し「自由大学」について知るということに取り組んでいただいていた。自由大学について知った学生からは、特に長野県出身だったり、この地域の出身だったりの学生から「とても素晴らしい」、「このような取り組みをしていることを誇りに思う」というようなアンケートの回答を見させていただいている。ぜひこの取り組みはきちんとしていか

なければならないと思っており、なにしろ若い人たちに知ってもらうような取り組みについて検討して参りたいと思う。

峯村教育長

まだご意見あるかと思うが、時間の関係で次に参りたいと思う。

○全員了承

(3) 令和4年度青少年善行表彰及び「家庭の日」の作文の表彰について（生涯学習・文化財課）

○資料5により上原生涯学習・文化財課長説明

令和4年度青少年善行表彰及び「家庭の日」の作文の表彰について、その概要と、表彰式の実施状況についてご報告をさせていただく。最初に表彰式の概要である。去る11月27日、上田創造館において表彰者、受賞者、そしてその家族等の関係者にご参加いただき、善行表彰及び「家庭の日」の作文の表彰式を行った。まず、青少年善行表彰である。地域で善い行いをした青少年を顕彰することにより、誇りと自信を高め、よりよい市民としての豊かな心と実践力の育成・向上を図るという目的で、この青少年善行表彰を行ってきている。今年度は、推薦いただいた4団体、2名の個人の方を表彰した。表彰式ではスクリーンで、活動の様子を紹介し、本人の感想を述べる場面では今後の取り組みの決意などをお聞きすることができ、私どもとしては、大きな期待と頼もしさを感じたところである。前項の内容については2・3ページをご参照いただきたい。続いて、「家庭の日」の作文である。家庭づくりの大切さについて理解を得るための取り組みの一環として、日頃の家族への感謝や家族への想いを内容としたものをテーマとする家庭の日の作文を市内小中学校から募集し、入選作品を表彰しているものである。今年度は636点の応募をいただき、その中から、入選作品として優秀作品7点、優良作品11点の計18点、小学生・中学生のそれぞれ9名が受賞した。受賞者及び作品名については資料の4ページをご参照いただきたい。また当日は、優秀作品の中から代表して小学生1人に朗読をいただいた。どの作品においても、家族と一緒に過ごす日常そして家族のつながりの大切さや家族への感謝の気持ちが溢れ、心温まる内容の作品ばかりであった。優秀作品7点の作文を掲載した作品集を別冊でお配りしたので後ほどご覧いただきたい。

峯村教育長

ただ今の件について、ご質問やご意見いかがか。

北沢委員

特に善行表彰について、もっとメディアに周知をしてもよいのではないかと。もう一つは、本人や団体への承諾はあるかと思うが「公民館だより」に地区の情報として、詳細な内容を掲載していてもいいのではないかと。検討していただきたい。

峯村教育長

時間が無いもので、ご意見いただいたということでよろしいか。他にはいかがか。
よろしいか。

峯村教育長

それでは(4)番から(7)番まで説明なし。ご意見ご質問あればお出しいただく。よろしいか。

○全員了承

5 その他

峯村教育長

事務局から何か連絡や報告あれば。

上原生涯学習・文化財課長

令和2年・3年に全国山城サミット上田坂城大会、東御アフター大会を開催したところであるが、この度、長野県の地域発元気づくり支援金の優良事例として選定され、知事表彰を受けることとなった。

この山城サミットについて、大会実行委員会事務局として西部公民館、上野が丘公民館、そして私ども生涯学習・文化財課が携わり活動の支援をさせていただいたところである。令和2年・3年の山城ガイドツアーやオンライン講演会を開催したところである。この取り組みについて長野県において、地域でニーズを的確にとらえ、地域の元気づくり創出効果が大きいこと、また実施方法などについて他にはない創意工夫があり、モデル性が高く、他の地域で実施した場合でも同様の効果が期待できるなど高い波及効果があることを主なポイントとし、各地域振興局から1件ずつ選ばれる「知事表彰」として選定されたものである。表彰式は12月20日に上田合同庁舎で開催される予定となっており、実行委員会の代表の方が出席し表彰を受ける予定となっている。これを機会に、引き続き山城の保存活用について市民団体と連携し、自立した活動の支援を行って参りたいと考えている。

峯村教育長

表彰について報告いただいた。他には事務局で何かあるか。

よろしいか。

それでは以上をもって12月の定例会を終了する。

○全員了承

閉 会